

**「六甲最高峰トイレ新築工事設計業務」
公募型簡易プロポーザル 評価要領**

1. 審査方法

- (1) 設計事務所の募集及び選定にあたっては、透明性・公平性及び競争性の確保に配慮したうえで、本業務に係る提案内容等を総合的に評価する、公募型簡易プロポーザル方式を採用します。
- (2) 市は、提案内容の審査に関して、幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される、六甲最高峰トイレ新築工事設計業務事業者選定委員会（以下、「選定委員会」とする。）を設置します。
- (3) 選定委員会は、調査表とそれに基づくヒアリング内容について、評価要領に基づき審査を行います。市は、選定委員会における審議を経て、委託先候補事務所を特定します。
なお、調査表提出者が多数の場合、調査表に基づく一次審査（書類審査）を実施し、得点上位5者程度を二次審査（ヒアリング）参加者として選定します。調査表提出者が5者程度の場合は、一次審査を実施せず、全ての調査表提出者を二次審査参加者とします。

2. 調査表及びヒアリング内容の審査

(1) 評価方法

- ・ 選定委員会において、調査表の内容及びヒアリング内容に基づく「技術評価点」と、設計費に基づく「価格点」を合わせて、「総合評価点」を算出し、総合的に評価を行います。
- ・ 配点は、技術評価点として提案内容に関する項目 65 点、事業者に関する項目 30 点、価格点として設計費に関する項目 5 点、計 100 点満点とします。
- ・ 技術評価点は、選定委員の主観的評価により総合的に判断を行い、各選定委員の評価点を審査項目ごとに平均して算出します。
- ・ 一次審査（書類審査）を実施した場合でも、二次審査において、一次審査の結果については考慮しません。

(2) 審査項目に基づく審査（提案内容に関する項目、事業者に関する項目）

選定委員会は、審査項目表（審査項目、審査項目の視点及び配点）に基づき、提案内容を通じた設計者の考え方や業務における取組方法等について、具体的かつ優れた提案がなされているか審査を行います。また、二次審査における応募者のプレゼンテーション、選定委員会による提案者へのヒアリング等における発言・回答内容等は、調査表における提案内容と同列の扱いとします。

各審査項目の得点は、選定委員会が、審査項目ごとに、調査表内容及びヒアリング内容について、以下の4つの評価ランクに応じた評価点を採点します。なお、得点は少数点第2位を四捨五入して求めます。

評価ランク		評価点
A	特に優れた内容である	審査項目の配点×100%
B	優れた内容である	審査項目の配点×60%
C	評価できる内容がある	審査項目の配点×30%
D	評価する内容が特にない	審査項目の配点×0%

「設計事務所の所在地」については、単体企業での応募の場合、設計共同企業体での応募の場合とも、「代表設計事務所の本店の所在地が市内であるか」に基づき、Aランク、Dランクの2段階で、事務局により採点します。

評価ランク		評価点
A	代表設計事務所の本店の所在地が市内である	審査項目の配点×100%
D	上記に該当しない	審査項目の配点×0%

(3) 設計見積り価格に基づく審査（設計費に関する項目）

価格点の算出は次式のとおりとし、少数点第2位を四捨五入して求めます。設計費見積り価格の算定については、別添設計業務特記仕様書をご参照ください。

委託先候補事務所として特定された場合、提案時に提出した設計見積り価格をもとに、契約手続きに移ります。なお、業務委託料の上限額を超えた場合、委託先候補事務所として特定しません。

【算定式】

$$\text{価格点} = 5 \text{点} \times \{ (\text{業務委託料の上限額}) - (\text{提案者の提示する設計費}) \} \div (\text{業務委託料の上限額})$$

(4) 業務実施上の留意事項

次の各号のいずれかに該当する場合は、選定委員会で審議します。

- ① 管理技術者が一級建築士でない場合。
- ② 管理技術者及び意匠担当主任技術者が代表設計事務所の組織に属していない場合。
- ③ 意匠業務分野の大部分を再委託する場合。

「六甲最高峰トイレ新築工事設計業務」審査項目表

No.	審査項目	審査項目の視点	関連設問	配点
■ 提案内容に関する項目				65
①	全体計画・ デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 建築物および外構を含めた全体の敷地計画が六甲山の最高峰に相応しいデザインとなっているか。 実現性の高い提案となっているか。 	設問 1	10
		<ul style="list-style-type: none"> トイレが利用しやすく、安心・安全で快適な計画となっているか。 		10
		<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内海国立公園（六甲山地区）第1種特別地域等に相応しい外構計画であり、登山者が休憩所として利用しやすい空間となっているか。 		10
②	木材の利用方法	<ul style="list-style-type: none"> 木材を効果的に利用し、PR性の高いデザインとなっているか。 	設問 2	10
		<ul style="list-style-type: none"> 耐久性・耐蝕性等を考慮し、適材適所に木材を使用しているか。 		5
③	維持管理への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理に係る手間やライフサイクルコストに配慮した提案となっているか。 	設問 1 設問 2	10
④	業務の理解度・ 取組意欲	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容や課題に対する理解度が高いか。 業務に関連する知識が豊富か。 現実性の高い概算工事費となっているか。 	設問 1 設問 2 設問 3	5
		<ul style="list-style-type: none"> 意欲、熱意が感じられ、創意工夫が期待できるか。 説明、質疑の受け答えが明快であるか。 	設問 4	5
■ 事業者に関する項目				30
⑤	設計体制・実績	<ul style="list-style-type: none"> 設計共同企業体構成員や協力事務所等も含め、今回の業務において、密接な連絡体制が期待できるか。また、それぞれの役割が明確か。 	設問 3	10
		<ul style="list-style-type: none"> 代表設計例における課題解決に対する考え方を通して、知識・ノウハウが十分か。また、創意工夫が期待できるか。 		10
⑥	若手技術者の登用	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月1日時点において、40歳未満の若手技術者を積極的に登用しているか。 また、若手技術者の役割が明確か。 	設問 3	5
⑦	設計事務所の所在地 (※事務局採点)	<ul style="list-style-type: none"> 代表設計事務所の本店の所在地が市内であるか。 	設問 3	5
■ 設計費に関する項目				5
⑧	設計見積り価格 (※事務局採点)		設問 4	5
合計				100